

新型コロナウイルス感染状況が少し落ち着きを見せ、3月以来ようやく今年2度目の自然観察会を実施することができました。久しぶりにたくさん子どもたちが虫網を手に集まり、楽しい時間になりました。

大坂池の近くのウチワゼニクサを見に行くと、先月見たときよりも繁茂しているように見えました。今が花の時期とのことでしたが、確認することはできませんでした。小学生の参加者の男の子がヒメタイコウチの幼虫を見つけました。大きさにばらつきがあり、10頭以上いるようでした。またキイトンボを捕らえた子どもがいました。キイトンボは近年数が減っているようで、見つかったことを喜ぶ声が上がりました。



ウチワゼニクサ



ヒメタイコウチ



キイトンボ

ミドリシジミの卵は非常に小さな卵ですが、ハンノキの幹の割れ目にいくつも見られました。このまま次の冬を越し来春孵化します。足元ではクマゼミの抜け殻が見つかりました。これが今年羽化したセミのものであることの根拠は見た目の新しさではなく抜け殻がくっついていてヒメジョオンが今年伸びた花であるという事実でした。そばのコナラの幹を無数の小型のアリが行列を作って、登ったり下りたりしていました。



ミドリシジミの卵



クマゼミの抜け殻



アリの行列

アバマキの根元に生える茶色のキノコは、詳しい参加者によるとイグチ科とのことで、同じ木にはマンネンタケもついていました。別のアバマキの木にとまっていたコシロシタバを子どもが虫網で捕獲すると、普通にとまっている時には見ることのない下の翅の模様をネット越しに裏側から確認することができました。



イグチ科のキノコ



マンネンタケ



コシロシタバ

畑のサツマイモの葉にシオヤアブがとまっていた。近づくと少し飛んではすぐにまた近くにとまり、人のそばをなかなか離れませんでした。湿地のそばではセリやミソハギが咲き始めていました。ミソハギの花にはおしべが長いものと短いものがあり、その理由は自家受粉を避けるためであると説明されました。



シオヤアブ



セリの花



ミソハギ



田んぼの近くではコハンミョウが捕らえられました。今年の田んぼでは、1本だけの苗を植えたものと3本をまとめて植えたものとの2種類の植え方をしている、両者の収量と分蘖(ぶんけつ・ぶんげつ)数(枝分かれした茎の数)を比べるそうです。田んぼの周辺では上陸して間もない小さなヌマガエルがたくさん飛び跳ねていました。



田んぼ



コハンミョウ



ヌマガエル

ここで一人の参加者から3種の植物の説明を聞きました。次の写真は左からタカノツメの葉、カクレミノの葉、地面から生えているのはチドメグサです。タカノツメは落葉樹、カクレミノは常緑樹、チドメグサは常緑の多年草ですがすべてウコギ科だそうです。チドメグサは近年セリ科からウコギ科に変更になったということです。



ウコギ科の3種



ウコギ科3種の観察



ネプトクワガタ

参加者が近くの木からネプトクワガタとヨツボシオオクスイを採ってきました。ネプトクワガタは東山の森ではごく普通に見られるそうです。同じ参加者がクズの葉から採集したクズノチビタマムシも観察しました。タマムシの仲間と言うにはあまりにも地味で小さい甲虫ですが、迷路のような食痕に特徴があるので見つけるのはそれほど難しくないとのことでした。周辺のクズの葉を探してみるとそれらしい食痕を見ることができました。



ヨツボシオオクスイ



クズノチビタマムシ



クズノチビタマムシの食痕

子どもが捕らえたツマグロバッタ(ツマグロイナゴ)は昨年のなごや生物多様性保全活動協議会主催のバッタの斉調査では1頭も見つかっていないことがわかりました。この日はトンボに詳しい小学生が活躍し、雌雄の見分けに役立つオスの生殖器(矢印)について実際にシオカラトンボで確認することができました。



ツマグロバッタ



シオカラトンボの♀



シオカラトンボの♂

平和公園での観察項目(観察順)：スズバチ、カマキリの幼虫、キイトンボ、ウチワゼニクサ、ヒメタイコウチ、ケラ、ウスバキトンボ、ミドリシジミの卵、クマゼミの抜け殻、ヒメジョオン、アリ、カラスウリ、ナナフシモドキ、ショウリョウバッタ、オオウラジロ、スズメバチ、イグチ科のキノコ、マンネンタケ、ヒメウラナミジャノメ、シロテンハナムグリ、アメリカザリガニ、ガマの穂、カナブン、コシロシタバ、シオヤアブ、ソシンロウバイの偽果、ヤブキリの幼虫、ミソハギ、シロバナサクラタデ、セリの花、イセノナミマイマイ、クモの仲間、田んぼ、コハンミョウ、ヌマガエル、タカノツメの葉、カクレミノの葉、チドメグサ、ネプトクワガタ、ヨツボシオオクスイ、アジアイトトンボ、オジロアシナガゾウムシ、コフキゾウムシ、クズノチビタマムシ、クズノチビタマムシの食痕、ツマグロバッタ、シラタマホシクサ、ワレモコウ、ショウジョウトンボ、オオシオカラトンボ、シオカラトンボ、ヘクソカズラ、イネ